

優しく強い子に！



h

ttp://www.minamih.net/
19・12・10(火)
南NEWS no 108

【6年生試合レポート】

三多摩一つなり交流戦

2019/12/7(土) 戸吹スポーツ公園グラウンド

《めあて》 ハイプレスをする、5つ観てコーチング、
スプリントをする

技を使う 試合を楽しむ

《試合結果》

(1)南八王子 1-2 前半 1-0

得点 ワヘイ君

(2)南八王子 4-0 白百合 前半 1-0

得点 レオン君2、トウイ君、
ソラさん(Aレオン君)

《試合の様相》

昨年の5年生で参加したこの大会では優勝して、楽しい祝勝会ができた良い思い出があります。ディフェンディングチャンピオンとして、9人の精鋭で臨みました。

初戦のバリオレ日の出戦、15ブロックの予選では、中央大会出場あと一步のベスト8に入った強豪です。対して南は普段より少ない人数でも、その分長く出場できるチャンスをぜひモノにして、底力の高さを見せたいところです。

前半からレオン君のポスト直撃の惜しいシュート、ソラさんのハーフラインからの積極的なロングシュートがみられ、全く引けをとりません。そして前半終了間際の19分、ワヘイ君が相手GKのクリアをカットしてそのままドリブルで進み、GKまで見事なダブルタッチでかわしての先制点、ビューティフルゴールでした。

しかし後半は一転して防戦一方、4分と14分とともに中央突破され失点し、悔しい逆転負けでした。しかし相手の実力にも南は良く食らいつき、必死に戦ってる姿は、出場メンバーの成長を感じさせる展開でした。

2戦目の白百合戦は、セイジュン君～トウイ君のワンツー、成長著しいカナさんのキレッキレのV字、モカさんの華麗な球さばきも見られ、シュンセイ君のCKからセイジュン君の惜しいヘディングシュート、シオン君は状況に応じて体格を生かしたトップのクサビ役だけでなく、時間帯によってはサイドバックもこなし、頼れる存在でした。



普段の布陣と大差ない展開が、この試合序盤から現れます。前半15分、アタッキングサードゾーンの中央でワヘイ君からのパスを受けたレオン君が、一人かわしてゲットゴール、先制して前半を終えます。

そして後半はゴールラッシュ、早々1分に中央で待ち構えたソラさんが、レオン君から受けたパスを冷静に決め、続けて8分にトウイ君は渡り廊下から中央まで2人かわしての突破直後ミドルシュートで3点目、トドメはレオン君が再び2人かわしたあとのミドルシュートを決め、圧勝できました。

《コーチ所感》

初戦の逆転負けは悔しい敗戦でしたが、勝てるチャンスも十分にあり、改めて個の技術力は、強豪相手にも負けてないことを証明する展開だったと思います。

このあと卒業までの約4ヵ月、南でのサッカーの経験が、メンバー全員にとってより良い思い出になるために、6年生のチーム力がもっともっと向上させられるために、コーチも一生懸命そのお手伝いをします。

南でサッカーやってて良かった、教わったことが役に立った、皆がそう実感できる様、心から願ってます。

b y 田邊コーチ

レポート バルディ with 片野道朗

『モダンサッカー教科書』 p22

……さっき話題に出た rondo(輪舞)もその一つです。ポゼッションの質を高めることが狙いですが、同時にネガティブトランジション(攻から守への切り替え)における即時奪回、ボールを失った瞬間にスイッチを入れて相手に「飛びかかる」(ゲーゲンプレッシング)という意識づけにとっても有効なエクササイズです。

スペインではあまりこの側面は強調されていなかったように思いますが、攻守の切り替えの速いドイツでは1秒が決定的な違いを作り出しますからね。選手が意識の中でその1秒を逃したら、チームは大きな危険にさらされることになる。

グアルディオラ(バルセロナ・バイエルンミュンヘン・マンチェスターシティと監督を歴任した名将)は、サッカーにおいてはこの1秒こそが鍵だということをバイエルンにわからせ、意識づけに成功しました。……

()内は矢上記述



1秒が、大きな危険どころか試合を左右するのです。三多摩は一つ交流戦の日の出に許した決勝点。南のゴールキックを相手がトラップした瞬間の1秒でアーリーヒットすれば、あのワントラップシュートはなかったかもしれないのです。真に1秒に集中し、その攻防が試合を決めるのです。b y 南の安版万

